

【取組内容①】「クラウド環境を活用した協働的な学び」

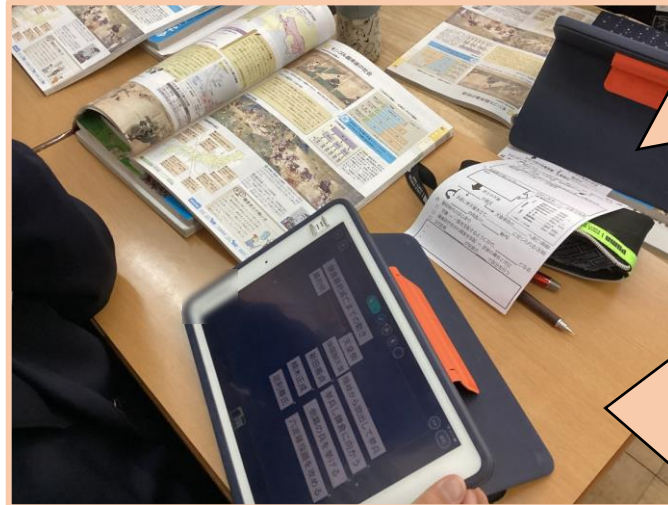
☆思考する場面でクラウド環境を活用。考えや活動成果を常に共有
 ☆共有された情報を生かした、個別最適・協働的な学びが発生

国語科での実践



デザインアプリを使い、グループごとのテーマに沿って、協働で作品作りを行う。

社会科での実践



グループごとに共有スペースを作り、テーマに沿って分担して調べ学習に取り組む。

自分達以外のグループの取り組み状況も参照できるようにすることで、さらなる学びの広がり・深まりにつながる！

<教師側の利点>

- 生徒の作品や課題の全体共有が簡単に行える。
- グループごとの作品や課題をクラウド上に保管しておくことができる。
- 作品・課題返却をペーパーレスでできる。

<生徒側の利点>

- テーマや課題に沿って話し合いながらソフトウェア上で作品作りや課題づくりに取り組むことができる。
- 進捗状況や途中経過を互いに見ることができる。
- 活動への参加意識が高まる。
- アンケートなどタイピングでの打ち込みで提出がしやすくなった。

【取組内容③】「端末持ち帰りによる家庭学習の充実」

- ☆課題はクラウド提出・クラウド保管
- ☆長期休業中であっても、提出・確認がいつでも可能
- ☆学習の他、家庭とつながるツールとしても活用

社会科での家庭学習例

スーパー調査

近くのスーパーマーケット（例：イオン、イトーヨーカ堂、ダイエーなど）で売られている物の産地を調べよう。至善堂（養蚕・製糸・繻子）、和紙（和紙・和紙）、和紙（和紙・和紙）などを探してみよう。調べたものは至善堂のホームページに掲載してほしい。至善堂のホームページに掲載してほしい。至善堂のホームページに掲載してほしい。

品名	産地	値段（1個）	調査店舗
例：アスパラガス	例：メキシコ	例：38円	
さば	ノルウェー	397（3枚）	
たこ	モロッコ	357（100g）	
えび（ブラブライグイ）		500（12尾）	
ゴールドキウイ	ニュージーランド	97（一個）	
牛肩ロース	オーストリア	197（100g）	
銀鮭	チリ	197（100g）	
たこ	モーリタニア	328（100g）	
オレンジ	オーストリア	380（一袋）	
バナナ	フィリピン	218（一袋）	
サーモン	ペルー	380（100g）	
豚肉ロース	アメリカ	138（100g）	
赤えび	アルゼンチン	598（5尾）	
アボカド	メキシコ	97（一個）	
豚バラ	アメリカ	127（100g）	
うなぎ蒲焼	中国	1370（1尾）	
まぐろ	地中海海域	798（100g）	

調査して感じたこと・発見
とても国産が多かった。
あと野菜などは国産が多かったけど、生鮮食品などは外国産が多かった。

歴史的建造物

二条城



所在地 京都府京都市
成られた時代 江戸時代

二条城は、京都府京都市に上通堀川西入二条城町にある日本の城。江戸時代の徳川将軍家の平城であり、近代においては重要な宮殿の役割を持った。そして、二条城では、床を歩くと言が囁く、驚きということがある。

歴史物品

日光助真



日光助真は鎌倉時代作られたとされる日本刀。日本の国宝に指定されている。日光助真は、家康の愛刀として大切にされており、元々は加藤清正が所持していたものであった。

参考文献

- Wikipedia
- Google
- 家康公年表

調べてみての感想
徳川家康のことが気になって、新聞にまとめてみると、自分の知らないことがたくさんあった。徳川家康は、徳川幕府の初代将軍で、子から入幕なのに、征夷大将軍になって、江戸幕府を作った。徳川幕府の初代将軍で、子から入幕なのに、征夷大将軍になって、江戸幕府を作った。徳川幕府の初代将軍で、子から入幕なのに、征夷大将軍になって、江戸幕府を作った。

- 学習活動を支援
 - ・手書きではなくキーボード入力
 - ・適切に漢字を使用 など
- ICTを活用した一歩進んだ課題
 - ・Web検索による情報、資料集め
 - ・写真を使用した成果物の作成
- クラウド利用で管理を容易に
 - ・一覧表示で提出状況を確認
 - ・紛失リスクや持ち運びの負担を軽減
- ◎学習の積み重ねの可視化
 - ・学習者も指導者も、過去に取り組んだ課題を簡単に参照できるため、学習の積み重ねを感じられると共に、過去の課題を生かした取り組みも可能になる。

さらに・・・
日常的に持ち帰りを行うことで、連絡ツール（部活動、たよりの配信、欠席時の連絡など）としても効果的に活用。感染症流行時等、非常時にも端末を利用してつながりを保つ。

2日(金) 21:53

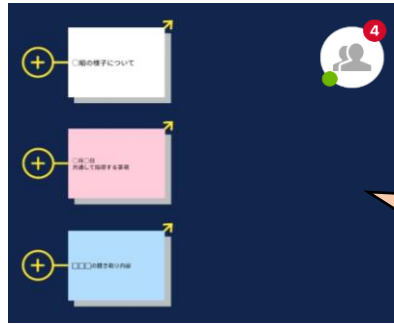
【取組内容④】「クラウド環境を活用した校務の効率化」

クラウドベースの資料共有

- ① 各種調査はオンラインで回答
- ② 資料はクラウド保存し、いつでも参照可能
- ③ 教育相談、生徒の様子をクラウド上で共有



資料は原則クラウド上に保存。ペーパーレスのみならず、資料を探したり、持ち歩いたりという手間も激減。



共通して指導する内容や、共有すべき教育相談の内容等をクラウド上で共有。各先生が得た情報を書き込むことで、集まるよりも早く情報共有が可能、チームでの対応がより進む。(画像はイメージです)

各種の調査はオンライン上で回答するように。ペーパーレス化、紛失のリスク回避、情報集約の手間削減と、校務改善に大きな効果が。

☆調査のオンライン化により、大きな校務改善に成功！
 ☆資料のクラウド共有による大幅なペーパーレス、資料を探す、持ち運ぶ手間激減！
 ☆必要な情報をクラウド共有することで、時間差なくチームで対応可能！

リーディングDXスクール事業【実践事例】

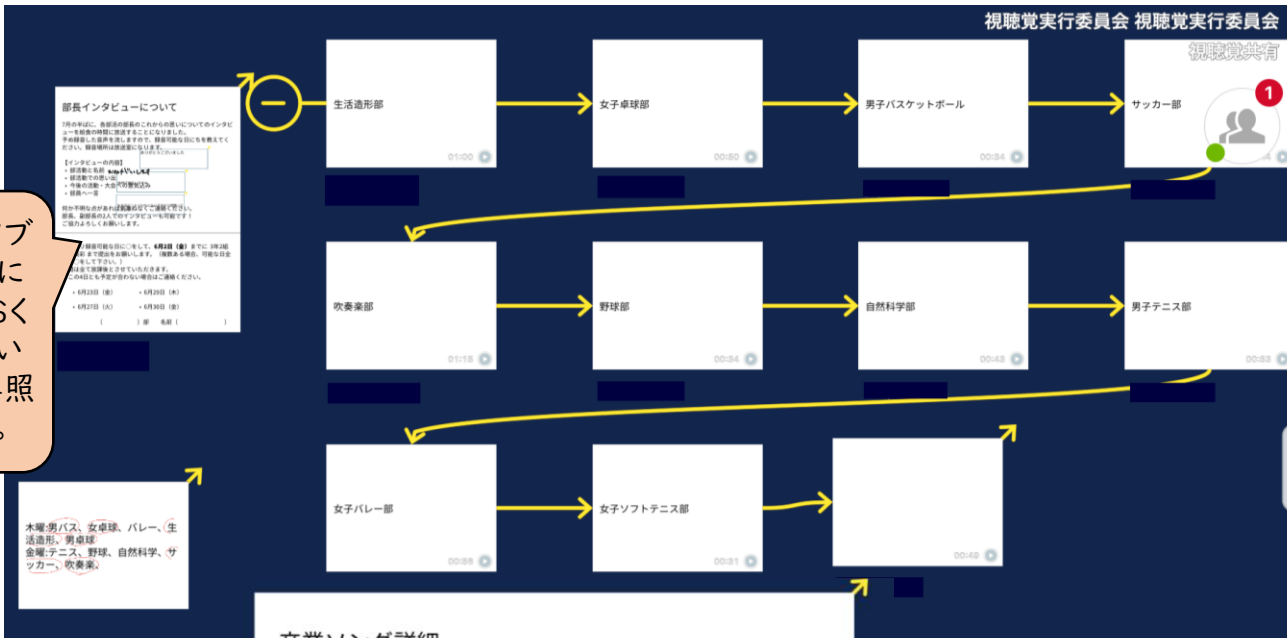
桑名市立光陵中学校

【取組内容⑤】「委員会活動におけるクラウド活用」

- ☆月一回の活動で方針や企画を示し、期間を設定して活動が可能
- ☆共有機能を使用して委員会活動の進捗状況を確認
- ☆データや記録をクラウド上に保管

○視聴覚実行委員会の取組みとして、各部活の部長へインタビューを実施した。

各自が担当部長へのインタビューをタブレットで撮影し、共有の作業スペースに保存するようにした。教師はもちろん、生徒同士でも進捗度合いがいつでも確認でき、他の生徒が撮影した映像を参照することも可能となる。このスペース上でそのまま編集作業をおこなうこともできる。



資料をタブレットに入れておくことで、いつでも参照できる。

簡単な用件をチャットの的に伝えることも可能。

伝達事項を掲載することで、情報が正確に伝わる。

- ☆委員会として集まる時間を減らしつつ、互いを参照しながら取り組みが確実に進む。
- ☆集めたデータを活用し、ポスターや動画の作成などが簡単に行える。
- ☆教師が各委員の活動を簡単に掌握可能。